

伊勢湾台風50年 沿岸防災シンポジウム

「大型台風の襲来に対する伊勢湾沿岸域防災対策のあり方」

伊勢湾台風50年を迎えて、伊勢湾沿岸域における現在の防災レベルを検討し、地球温暖化などによる将来の大型台風発生に対して、最新技術の活用などによる今後の防災・減災対策のあり方を考えていきます。

**入場
無料**

開催日：平成21年9月16日（水）14：00～17：30

開催場所：名古屋港湾会館大ホール ※住所・地図は裏面をご覧ください。

プログラム

14：00 開会

オープニングビデオ
「高潮災害から港を守る」上映

14：15 主催者挨拶

岩立 忠夫 中部地方整備局 副局長

14：20 基調講演

1. 「伊勢湾台風や超伊勢湾台風来襲の
可能性と被害予想」
大和田道雄 愛知教育大学特別教授

2. 「伊勢湾高潮災害に対する現状の
防災機能と将来リスクの検討」
春日井康夫 中部地方整備局
名古屋港湾事務所長

15：45 休憩（15分）

16：00 パネルディスカッション

テーマ

「大型台風の襲来に対する
伊勢湾沿岸域防災対策のあり方」

17：30 閉会

コーディネーター

・伊藤 達雄 名古屋産業大学名誉学長・特任教授

パネリスト

- ・大和田道雄 愛知教育大学特別教授
- ・水谷 法美 名古屋大学大学院教授
- ・松尾 年巳 名港海運株式会社専務取締役
- ・久野 時男 飛島村村長
- ・春日井康夫 中部地方整備局名古屋港湾事務所長

出演者のプロフィール



伊藤 達雄

いとう たつお

名古屋産業大学名誉学長・特任教授

理学博士。専門は環境政策、都市地理学、経済地理学、地域政策。三重大学教授、シカゴ大学招聘準教授、四日市大学教授、名古屋産業大学学長等を歴任。東京教育大学（現筑波大）大学院卒。愛知県岡崎市出身。



大和田 道雄

おおわだ みちお

愛知教育大学特別教授

理学博士。専門は自然地理学、気候学、気象学、都市大気環境学。愛知教育大学助手、助教授、教授を経て平成21年4月より現職。法政大学大学院卒。北海道旭川市出身。



水谷 法美

みずたに のりみ

名古屋大学大学院教授

工学博士。専門は海岸工学、海洋工学、水工水理学。名古屋大学助手、オレゴン州立大学工学部各員助教授、名古屋大学大学院助教授を経て平成14年より現職。名古屋大学大学院卒。三重県出身。



松尾 年巳

まつお としみ

名港海運株式会社専務取締役

現在名港海運（株）、名海運輸（株）、名古屋ユニテッドコンテナターミナル（株）、名古屋船舶（株）、名古屋コンテナサービス（株）、名港陸運（株）、（株）空見コンテナセンター等取締役。大島商船高等学校航海科卒。広島県出身。



久野 時男

くの ときお

飛島村村長

飛島村役場社会教育課長（兼務・公民館長）、教育委員会事務局長、議会事務局長等を経て、平成12年より飛島村村長就任。平成16年、平成20年に再任。現在3期目。三重大学農学部卒。愛知県飛島村出身。



春日井 康夫

かすがい やすお

中部地方整備局 名古屋港湾事務所長

港湾技術研究所、港湾局、第三港湾建設局、福岡市役所等を経て、平成13年より中国地方整備局広島港湾空港工事事務所長。その後港湾局、航空局を経て平成20年8月より現職。名古屋工業大学土木工学科卒。愛知県出身。

主催
国土交通省中部地方整備局

後援

名古屋港管理組合、四日市港管理組合、愛知県、三重県、名古屋市、
第Ⅲ管区海上保安本部、名古屋地方气象台、中部経済連合会、名古屋商工会議所

伊勢湾台風50年沿岸防災シンポジウム参加申込書

◆参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXまたはメールで下記までお申し込み下さい。

FAX:052-651-6374 Email:hattori-c852a@pa.cbr.mlit.go.jp

お申込先：国土交通省中部地方整備局港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 宛

お申込締切日：平成21年9月11日（金）※事前お申込をお願いします。

組織名	
連絡Email	
電話番号	FAX番号

氏名	役職

※事前に参加申込書の提出が無くても入場は可能です。

シンポジウム会場案内

名古屋港湾会館
〒455-0032
名古屋市港区入船
二丁目1番17号
TEL：(052) 652-7151
FAX：(052) 653-0235



【会場へのアクセス】

- ・地下鉄名港線「名古屋港駅」下車
2番出口徒歩2分
- 駐車場は下記（有料）が便利です。
 - ・ガーデンふ頭駐車場
 - ・ガーデンふ頭西駐車場

お問合せ

国土交通省中部地方整備局港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
溝口、服部 Tel：052-651-6460